

「地質の日」オンライン一般講演会 パブリックビューイング2024



知ろう
私たちの地球

地震がつくった能登半島の大地



宍倉正展 氏

産業技術総合研究所地質調査総合センター 連携推進室
国内連携グループ グループ長

能登半島地震では地盤が大きく隆起して海岸一帯が干上がりました。このような現象は、実は過去からくり返し生じていたことが海岸地形からわかります。つまり能登半島は地震のたびに隆起してできた大地なのです。その隆起の実態を日本列島各地にある同様の海岸地形と併せて紹介します。



能登半島地震による 新潟市域の液状化被害



卜部厚志 氏

新潟大学災害・復興科学研究所 所長・教授

2024年能登半島地震では新潟市西区において8000軒を超える住宅において液状化被害が発生しました。これらの液状化は、1964年新潟地震による液状化発生地域と重なり、砂丘斜面末端部や旧流路など地形・地盤に特徴がみられます。これら液状化のメカニズムや液状化深度、地盤強度などについて概要を報告します。



令和6年能登半島地震による地殻変動と地盤災害

実施日

5/12(日)

9:30~

12:05

(入室 9:00~)

Youtube live で配信される中継を
当館でもご覧いただけます。

参加費:無料 準備物:筆記具等

実施場所:四国西予ジオミュージアム企画展示室1

申込:不要。時間までに会場へお越しください。(途中入退室可)

【内容】

講演①

講演者: 宍倉正展 氏

(産業技術総合研究所地質調査総合センター 連携推進室 国内連携グループグループ長)

演題 『地震がつくった能登半島の大地』

能登半島地震では地盤が大きく隆起して海岸一帯が干上がりました。このような現象は、実は過去からくり返し生じていたことが海岸地形からわかります。つまり能登半島は地震のたびに隆起してできた大地なのです。その隆起の実態を日本列島各地にある同様の海岸地形と併せて紹介します。

講演②

講演者: 卜部厚志 氏(新潟大学災害・復興科学研究所 所長・教授)

演題 『能登半島地震による新潟市域の液状化被害』

2024年能登半島地震では新潟市西区において8000軒を超える住宅において液状化被害が発生しました。これらの液状化は、1964年新潟地震による液状化発生地域と重なり、砂丘斜面末端部や旧流路など地形・地盤に特徴がみられます。これら液状化のメカニズムや液状化深度、地盤強度などについて概要を報告します。

□主催: 日本地質学会 / 備考: 講演内容に関するご質問には当館スタッフではお答えできません。

■お手持ちのスマートフォンやパソコンでもご覧いただくことができます。

URL <https://www.youtube.com/live/f65hg5sYamU?si=DARA0Aw8OcAZhVJf>

自宅視聴はこちら

